

2023年5月13日

第53回東京鶴翔同窓会実行委員会（第2回）議事録

日時：2023年5月13日(土) 14時00分～16時00分

場所：中央区立環境情報センター第2研修室

出席者：20名（順不同、敬称略）

役員 副会長：梅津準士

幹事 常任幹事：坂田俊次、今野りつ

事務局 事務局長：岡部次樹

事務局次長：杉山恵子 伊藤美津子 石川康博（49回事務局長）

HP管理者：浦嶋貞一(web)

53回実行委員 (74)真田充、衣笠博子

(84) 鈴木良清、松田豊一、三木美智、匹田秀二、富樫嘉美、
中里陽一、荒船禎子、三浦正巳

(94) 齋藤潤司、藤田美鈴

1. 開会

2. 坂田会長挨拶

坂田会長は体調不良のため欠席。

岡部事務局長より鶴岡に関わる下記のお知らせがあった。

- ・昨年、大手町日経ホールで、酒井家入部 400 年のシンポジウムがあった。今年は、7月11日に入部 401 年で開催される。昨年度は無料であったが、今年は 1000 円の参加費となる。詳細は未定。

3. 出席者自己紹介（初参加の方）

中里委員、齋藤委員、衣笠委員、三浦委員が自己紹介した。

4. 第53回実行委員長・鈴木良清 挨拶

第1回実行委員会からこれまで、テーマを決めるアンケートを実施したり、広告主依頼リストを作成したり、徐々に活動をしている。これからもよろしく願います。

5. 議題

① 第53回「テーマ」について（鈴木良清）

- ・アンケート結果で、1位の「コイダバイガネバネノ」に決まった。
- ・2位の「んだばよ南高、思いは続くどこまでも」も捨てがたいので、会報部会や会場部会でアレンジして使って欲しい。

- ・キャッチフレーズはこれでよいが、これに決まった背景が分からない人には何か分からないものになるので、このフレーズが活きるように解説した方がよい。
→ 広告依頼や会報記事依頼、会報には、南校が最後年であり、「さようなら、南高」というテーマの思いを伝える工夫をしていく。
- ・カタカナ表記では見にくいので、ひらがな表記がよいのではという意見をもとに、キャッチフレーズの表記について議論をした。
→ 「こいだば 行がねばねの〜！」とする。広告依頼には、この表記を使用する。
→ デザインなどの細部については、会報部会、会場部会などで検討する。

② 広告部会（中里陽一）

- ・新規に 20 件を広告依頼先の候補にあげている。
- ・2022 年実績と合わせて 90~100 件程度に 6 月中に広告を依頼する。
- ・「まちなかキネマ」から「クラウドファンディング」のお礼を載せてほしいという相談があった。
→ 広告ではなく会報記事として投稿してもらうように回答することとする。
- ・広告依頼先に先に広告掲載の確認するのが理想であるが、時間的な制約があるので、郵送した後に電話でフォローすることとする。

③ 会報部会（富樫嘉美）

- ・会報の構成案を説明した。
(庄内の夏を感じさせる表紙、会長の挨拶、どこからでも読める会報としてマイブームなどの 100 字記事を広く募る、新制服の記事、部活動の現況、鶴翔方言ダービー)
提示された構成案に対して、意見を交換した。
- ・鶴南としては最後の年なので南校時代の思い出を募集してはどうか。
- ・広告件数によっては、100 人分掲載できないので広告部会とのやり取りが必要である。
- ・100 人にこだわらずに、テーマに沿って 50 人の記事に絞る方法もある。
- ・長い記事は意外に読まれないということがあって 100 字/100 人とした経緯がある。広く募ったことで、写真が入ったり、海外からの投稿があったりして目新しさがあった。
- ・コロナ中は皆さんに会えないので、近況報告を依頼した経緯もある。今回はコロナ明けで思い出を投稿することに転換するのもよいかと思う。
- ・学年年次幹事にも記事投稿者の協力をお願いして幅広い年代から記事を募るとよい。
- ・寄稿は HP に投稿できるようにもする。〆切などを決定して事務局に伝える。
- ・今年度の会報には、会費納付者のほか、前年度総会出席者も掲載する。会費納付者は会報掲載して大切にす。紙面が不足する場合は、QR コードを入れて、役員を HP に掲載する方法もある。

④ 会場部会（匹田秀二）

- ・6/4(日)引継ぎ会を行う。（日本橋公会堂）

6. その他

- ・第3回実行委員会

日時：2023年6月10日（土）

場所：日本橋公会堂

- ・第4回実行委員会からは第一土曜日に開催する。
- ・総会1週間前に実行委員会を開催するので、10月は2回開催する。

－ 以上 －

議事録作成：藤田美鈴